

令和8年度 技術 第3学年 「C エネルギー変換の技術」 船橋希望学舎 世田谷区立船橋希望中学校

月	指導目標	評価基準	単元	学習内容	観点	十分達成 A	おおむね達成 B	評価方法
4月	○よりよい社会を築いていくために生物育成に関する技術を適切に評価し、活用させる。	生活を主体的に取り組む態度 ・エネルギー変換に関する技術の課題を考え、社会的、環境的及び経済的側面などから適切な解決策を示そうとしている。 ・省エネルギーや環境保全、使用者の安全に配慮して設計製作しようとしている。	C:エネルギー変換の技術	①私たちの生活とエネルギー変換 ・エネルギーの利用 ・エネルギーの資源 ・エネルギー変換効率	態度 知識	・エネルギー変換に関する技術が果たす役割と影響についての問題に目を向け、その解決方法を考えることができる。 ・社会で利用されているエネルギー変換に関する技術についての知識を身につけることができる。	・エネルギー変換に関する技術が果たす役割について気づくことができる。 ・エネルギー変換に関する技術の基礎理解を深めることができる。	授業観察 ワークシート レポート 定期テスト
5月								
6月	○目的や条件に応じて栽培計画を立てるとともに育成する作物の観察を通して成長の変化を捉え、適切に対応を工夫させる。 ○生物の適切な管理を行い、知識を身につけさせる。	生活の思考・判断・表現 ・エネルギー変換に関する技術を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから比較、検討するとともに適切な解決策を見いだしている。 ・製作品の使用目的や使用条件を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから設計要素を比較、検討した上で、製作品にエネルギー変換方法や構造を理解し、加工に取り組みさせている。 生活の技能 ・機器の点検すべき箇所を見つけ、保守点検と事故防止に努めることができる。 ・設計に基づき、安全を踏まえた製作品の組立て、調整や電気回路の配線の点検ができる。 生活や技術の知識・理解 ・社会で利用されている機器等におけるエネルギー変換の利用についての知識を身につけることができる。 ・機器の構造や電気回路、各部の働きについての知識を身につけている。 ・製作品の組立てや調整に必要な工具や機器の適切な使用方法についての知識を身につけることができる。		②電気エネルギーの利用 ・電気エネルギー ・熱・光・動力への変換 ③エネルギー変換の実際 ・電気回路 ・機械部品 ・機器の安全な利用 ・機器の保守点検 ④製作品の構想と設計製作 ・テーブルタップ製作 ⑤エネルギー変換に関する技術の評価、活用 ・社会、環境との関わり ・作品の自己評価 ・製作品の改良、改善点の考案	知識 態度 知識 技能 思考 表現 態度 思考 表現	・電気エネルギーを変換して利用するためのしくみや変換方法の知識を身につけている。 ・機器の構造や電気回路、各部の働き、電気機器の保守点検や事故防止策など適切な使用方法についての知識を身につけている。 ・設計に基づき安全面を踏まえた製作品の組立て、調整ができ、電気回路の配線の点検ができる。 ・製作品の使用目的や使用条件を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから設計要素を比較、検討した上で、適したエネルギー変換方法などを定めることができる。	・電気エネルギーを変換して利用するためのしくみを知ることができる。 電気回路や電気機器の安全面など、適切な使用方法についての知識を身につけている。 設計に基づき安全面を踏まえた製作品の組立て、調整ができる。 ・製作品の使用目的や条件を明確にし、適したエネルギーを決めることができる。	

令和8年度 技術 第3学年 「D情報の技術」 船橋希望学舎 世田谷区立船橋希望中学校

月	指導目標	評価基準	単元	学習内容	観点	十分達成 A	おおむね達成 B	評価方法
7月	<p>○よりよい社会を築いていくための情報に関する技術を適切に評価し、活用させる。</p> <p>○情報に関する技術に関わる倫理観を身につけ、知的財産を創造、活用させる。</p> <p>○コンピュータにおける基本的な情報処理の仕組みと情報通信ネットワークにおける安全な情報利用の仕組みについての知識を身につかせ、情報に関する技術と社会との関わりについて理解させる。</p> <p>○プログラムによる計測・制御</p> <p>○情報に関する技術の評価・活用</p>	<p>生活を主体的に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が安心して利用できるデジタル作品を考え、設計できる。 ・新しい発想を生み出し、活用できる。 ・発見した問題を解決するための課題を設定できる。 <p>生活の思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題を解決するための計測・制御システムに必要な情報を収集し、解決策を具体化できる。 <p>生活や技術の知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバッグを行う。 ・エネルギー変換の技術による問題解決の学習を生かして、自動化・システム化が実現するプログラムを制作できる。 ・実際に動作させた結果を踏まえ、より効率的で確実な動作をするようにプログラムを改良できる。 ・計測・制御のプログラミングによる問題解決を振り返り、解決結果及び解決過程を評価し、改善・修正する方法について考える。 	D:情報の技術	<p>○情報と私たちの生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会における情報技術 ・情報技術とその役割 <p>○計測・制御</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにある計測・制御システムを調べる。 ・計測・制御システムにおけるプログラムの役割を調べる。 ・計測・制御システムの基本的な構成と情報の流れを調べる。 ・計測・制御のプログラミングによって解決できる問題を見付ける。 	態度	<p>・情報技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解できる。</p> <p>・インターネットなどの情報通信ネットワークのしくみについて理解を深めることができる。</p> <p>・設計に基づいて適切なシステムの構成及びプログラミングの技能を身に付けている。</p> <p>持続可能な社会の構築のために、これからの情報の技術について考えている。</p> <p>・3年間の技術の学習内容を振り返り、これから技術とどのように関わっていきたいか考えをまとめようとしている。</p>	<p>・情報技術が果たしている役割について理解できる。</p> <p>・ネットワークのしくみについて知ることができる。</p> <p>・ソフトウェアを用いて適切に表現や発信ができる。</p> <p>・適切なシステムの構成及びプログラミングの技能を身に付けている。</p> <p>・これからの情報の技術について考えている。</p> <p>・これから技術とどのように関わっていきたいか考えをまとめようとしている。</p>	<p>授業観察</p> <p>ワークシート</p> <p>レポート</p> <p>定期テスト</p> <p>プログラム(作品)</p>
9月								
10月								
11月								
12月								
1月								
2月								
3月								